※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新 言語文化　（三省堂）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、「今と昔をつなぐ」をテーマに近代以降の文章だけではなく、広く古典や漢文を読解し、鑑賞していきます。
・古典や漢文の授業では、文法の学習よりも、できるだけ多くの作品を読むことに重きを置きます。そして、私たちの祖先がどのように生き、何を思ったのかということに思いをいたす授業を目指します。作品の背景などへの想像力を養っていってください。
・提出物の期限を守り、授業の後には教科書やノートをよく読んで復習してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。

⑴ 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、自国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
⑵ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができるようにする。
⑶ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、自国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、自国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一	現代と昔のつながりを読み解く。 ［教材］ 「千年の時が与えてくれる安堵」	a：言葉には、文化の継承、発展，創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している c：日本古来の価値観と現代の価値観との共通点について進んで理解を深め、文章全体の見通しを持って筆者の主張を整理しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	当時の価値観について理解を深める。 ［教材］ 『枕草子』「ありがたきもの」	a：時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。 c：古典と現代の言葉のつながりを進んで理解し、今までの学習を活かして自分の考え方を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	言葉の由来を知る。 ［教材］ 故事二編「虎の威を借る」 「朝三暮四」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している c：故事成語の由来などを積極的に、見通しをもって調べ、自分の調べたことを整理しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	様々な解釈に触れる。 ［教材］ 「ゴール」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、人と人とのつながりを理解している。 c：作品全体を見通し、面白さや不思議さを読み取り、自身の解釈を積極的に他者と交流し、自らの学びを深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
二	物語の面白さを理解する。 ［教材］ 『沙石集』「児の飴食ひたること」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 c：進んで現代と昔の価値観の違いを比較し、物語の面白さを理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	当時の思想について理解する。	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「説苑」	b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：古代中国における儒教的思想を積極的に調べ、その知識をもとに文章を理解しようとしている。			
	作品の内容を理解し、想像力をはぐくむ。 ［教材］ 「オムライス」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解しようとしている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作品全体を見通し、登場人物の置かれている状況を想像し、他者や自分自身とつながるということについて，自分の考えをもとうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
三	原作と読み比べ、作品の特徴について考える。 ［教材］ 『羅生門』 『今昔物語集』 「羅城門の上層に登りて死人を見たる盗人のこと」	a：言葉には、文化の継承、発展，創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めているとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自国の言語文化について自分の考えを持っている。 c：作品とその原作の読み比べを通して積極的に自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自国の言語文化について自分の考えを持つ中で自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	自身の考えを文章にする。 ［教材］ 「随筆に表す」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：進んで自身の身の回りを見回し、題材の選定や文章の構成等、見通しを持って活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 作品評価

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　65　）時間